

財務諸表に対する注記

1、重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物及び什器備品…定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2、基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
(1) 俳諧資料	335,200,568	0	0	335,200,568
(2) 基本財産引当資産	36,300,000	0	0	36,300,000
小 計	371,500,568	0	0	371,500,568
特定資産				
(1) 退職給付引当資産	6,574,974	772,357	0	7,347,331
(2) 俳諧資料購入引当資産	2,175,400	218	0	2,175,618
(3) 俳句資料室事業引当資産	6,608,387	0	1,533,882	5,074,505
(4) 建物附属設備	18,286,829		1,836,212	16,450,617
小 計	33,645,590	772,575	3,370,094	31,048,071
合 計	405,146,158	772,575	3,370,094	402,548,639

3、基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
(1) 俳諧資料	335,200,568	(0)	(335,200,568)	(0)
(2) 基本財産引当資産	36,300,000	(0)	(36,300,000)	(0)
小 計	371,500,568	(0)	(371,500,568)	(0)
特定資産				
(1) 退職給付引当資産	7,347,331	(0)	(7,347,331)	(7,347,331)
(2) 俳諧資料購入引当資産	2,175,618	(0)	(2,175,618)	(0)
(3) 俳句資料室事業引当資産	5,074,505	(5,074,505)	(0)	(0)
(4) 建物附属設備	16,450,617	(16,450,617)	(0)	(0)
小 計	31,048,071	(21,525,122)	(9,522,949)	(7,347,331)
合 計	402,548,639	(21,525,122)	(381,023,517)	(7,347,331)

4、固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	397,844,566	255,416,204	142,428,362
什器備品	31,712,844	26,312,613	5,400,231
合 計	429,557,410	281,728,817	147,828,593